

はあふるぶくしま 別冊

福島県災害ボランティアセンター通信

Vol.6 2011年5月30日発行

●この情報紙について 被災地の復興と被災された方のサポートを行う災害ボランティアの活動や、今すぐ役立つ情報、取り組みを皆様にお伝えるの情報紙です。県内の災害ボランティアセンターなどで配布されます。(週一回程度) ご感想・ご意見は下記宛お寄せください。

発行: 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県災害ボランティアセンター
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地
福島県総合社会福祉センター1F
TEL024-522-6540 FAX024-523-4477
<http://www.pref-f-svc.org>



東日本大震災「仮設住宅における被災者支援」に関する学習会: 福島総合社会福祉センター

様々な人の力、仕組みをつなぎながら 震災前の日常を取り戻して行きましょう



▲講義の後、それぞれの感想を話し、質問内容を相談する参加者

▲パワーポイントで紹介された中越沖地震の報告の一枚。仮設住宅に住む方のリフレッシュ体操の様子



▲「安否確認、ボランティア活動の受け付け、イベントの企画・実施、地域との連携づくりなど、生活支援相談員の仕事は多岐にわたります」と浅野さん(柏崎市社協)



▲「集会所などを利用したサロンは、住民同士のコミュニティづくりにおすすめです。入居者の皆さんができることを進めていくのが長続きのポイントです」と大塚さん(柏崎市社協)



▲「生活支援相談員の見守りで大切なのは、ことばに表せない辛さに気づくこと。そして解決につなげていくこと」と大塚さん(柏崎市社協)

5月23日(月)、福島総合社会福祉センターにおいて東日本大震災「仮設住宅における被災者支援」に関する学習会(主催: 県社会福祉協議会)が開催されました。当日は、県内の市町村社協職員、同災害ボランティアセンタースタッフをはじめ、関係機関や団体の皆さんなど、100名を超える方々が参加されました。講師は、新潟県柏崎市社会福祉協議会の浅野泰彦さん(事務局長)、大掛幸夫さん(元統括生活支援相談員)、大塚真光子さん(生活支援係長)のお三方で、「仮設住宅入居者支援の実際と課題 ～中越沖地震災害の経験から～」がテーマでした。

今から4年前、中越沖地震が起きた時に作成した資料やパワーポイントを使った講演は、仮設住宅や集会所、入居者の暮らしと自立を支える生活支援相談員の戸別訪問やサロン活動、イベントの様子など

写真で見ることができ、わかりやすく参考になるお話ばかりでした。参加された皆さんは、メモを取りながら熱心に聞かれています。特に福島県は、原発事故という特殊事情によって住み慣れた市町村以外での暮らしを余儀なくされている方が大勢いらっしゃいます。質疑応答では、そうした状況も踏まえよりよい支援を構築していかなければならないことなども話し合われました。

間もなく県社会福祉協議会では、柏崎市社会福祉協議会の皆さんのご協力を得て、実態調査を行いながら「仮設住宅における社会福祉協議会活動ガイドライン」作りをスタートさせます。目標は、震災前の日常を取り戻すこと。様々な人の力、仕組みをつないで叶えていきましょう。

市町村災害ボランティアセンター紹介

28 新地町災害ボランティアセンター

新地町災害ボランティアセンターは、地元スタッフはじめ北海道、関東、九州など日本各地の社会福祉協議会職員、災害支援プロジェクトの皆さんを中心に運営されています。4月21日のスタート以来、見事な連携で引継ぎながら新地町復興のために活動を続けてきました。現在、登録ボランティアの累計数は、個人が1,367名、団体は22団体(2011.5.24)。こうした数字からも本当にたくさんの人に支えられていることがわかります。ゴールデンウィーク中に実施されたボランティアバスも連日満席でした。「朝7時半に出勤するとセンターの駐車場は、自家用車でかけつけてくださった方の車で満車。活動を30分繰り上げてスタートさせたこともありました」と、小泉修平センター長(新地町社協福祉協議会)。

震災から2カ月半。これまでは、避難所の炊き出しやがれきの運び出し、浸水による泥のかき出しなどの活動が多かったようですが、今後は仮設住宅入居に伴う引越しや家具の組み立てなどのニーズが増えそうと小泉さん。最後に大切なお知らせを一つ。5月26日からセンターでは、ボランティア活動だけ毎週木曜日を活動休止日とすることにしよう。もちろん困り事の相談は、いつでも受け付けています。「気軽にお電話ください。みんなで困難を乗り越えていきましょう」と小泉さん。



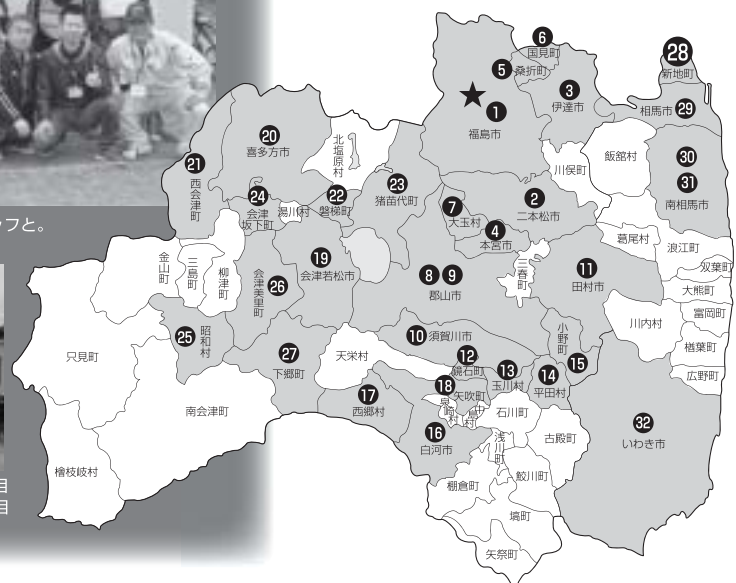
▲ゴールデンウィーク中、共に汗を流したスタッフと。前列右端が小泉センター長



▲5棟のコンテナハウスは、1棟目が総務、2棟目が受け付け、3棟目はニーズマッチング班、4棟目が活動報告、5棟目が資材倉庫になっています

市町村災害ボランティアセンターMAP

5月30日現在、32カ所に設置されています。



★福島県災害ボランティアセンター …… Tel: 024-522-6540

- 1 福島市災害ボランティアセンター
- 2 二本松市災害ボランティアセンター
- 3 伊達市災害ボランティアセンター
- 4 本宮市災害ボランティアセンター
- 5 桑折町災害ボランティアセンター
- 6 国見町災害ボランティアセンター
- 7 大玉村災害ボランティアセンター
- 8 郡山市災害ボランティアセンター

- 9 おだがいさまセンター(ビッグバレットふくしま生活支援ボランティアセンター)
- 10 須賀川市災害ボランティアセンター
- 11 田村市災害ボランティアセンター
- 12 鏡石町災害ボランティアセンター
- 13 玉川村災害ボランティアセンター
- 14 平田村災害ボランティアセンター
- 15 小野町災害ボランティアセンター
- 16 白河市災害ボランティアセンター

- 17 西郷村災害ボランティアセンター
- 18 矢吹町災害ボランティアセンター
- 19 会津若松市災害ボランティアセンター
- 20 喜多方市災害ボランティアセンター
- 21 西会津町災害ボランティアセンター
- 22 磐梯町災害ボランティアセンター
- 23 猪苗代町災害ボランティアセンター
- 24 会津坂下町災害ボランティアセンター

- 25 昭和村災害ボランティアセンター
- 26 会津美里町災害ボランティアセンター
- 27 下郷町災害ボランティアセンター
- 28 新地町災害ボランティアセンター
- 29 相馬市災害ボランティアセンター
- 30 南相馬市災害ボランティアセンター(鹿島区)
- 31 // (原町区)
- 32 いわき市災害救援ボランティアセンター